

乳幼児期の英語教育

岡 詔子

現在育児休業中で、娘が昼寝するのを待っては、育児書を読む日々である。育児雑誌からは驚くほど多くの早期英語教育に関する情報が得られる。読む機会のない先生がたも多いだろうから、専門書でなく育児書を通じて見た「乳幼児期の英語教育」を論じてみるのもおもしろいかも知れない。

「将来、子どもにさせたいおけいこは？」1位は英会話で30%の得票率である(gooBaby)。この人気を反映して、育児雑誌には英語教材の広告が満載されている。では、乳幼児向けの英語教材の宣伝文句をいくつか拾ってみよう。「言葉は早く始めるほどやさしく学べます。また小さな子供は、複数言語を一度に学んでも混同せずに身に付ける能力を持つため一緒に始めても支障はありません。英語圏以外の子どもたちが『言葉の音を聴き、まねをし、そして意味をつかむ』という母国語(日本語)と同じプロセスで英語を身につけることを目的にDWEは母国語方式を取り入れています。」(ディズニーの英語システム)「…ベビーの聴覚は大人に比べずっと敏感です。聴覚の発達が目覚ましい乳幼児期は、聞こえるすべての音を吸収し、そこから言葉を学んでいきます。つまりこの貴重な時期に良質な英語を聞かせておけば、将来英語に困らない『英語の耳』を形成できるのです。」「…毎日30分～1時間聞くことで、英語独自のリズムやイントネーションが身に付いていきます。『勉強させる』教材ではなくBGMとして流すだけなので、ベビーは嫌がらないし、ママも手がかかりませんね。」(アルクエンジェルコース)「はじめて英語に接する子供たちに、いきなりコンプレックスを与えてしまっては逆効果です。この教材は、親子で一緒に遊びながら英語のリズムやイントネーションといったものを、『感覚』として五感にしみ込ませることをねらいとしています。そのためには、ゆっくりくり返して楽しむことがいちばん！」(母と子のおし

ゃべり ENGLISH)「2歳までの赤ちゃんはどんな音でも聞き取る能力を持っています。アメリカで研究開発されたこのビデオは、かわいい映像に、日本語、フランス語など7カ国語のナレーション、音楽、自然の音を組み合わせ、赤ちゃんの脳をやさしく刺激。繰り返し聞かせることで、外国語の基礎能力をつけるだけでなく、頭脳と感性を育みます。」(ベビー・アインシュタイン)

これら宣伝文句の共通項は、なんでも聞き取ることのできる大切な時期を逃さず、楽しみながら、繰り返しネイティブな英語を聞かせよう、ということである。確かに、乳幼児期には耳をあらゆる言語の周波数に合わせるができるが、大きくなるにしたがって、低めの日本語の周波数しかキャッチできなくなる、ということはよく言われている。しかし、臨界期は12歳ごろにあったのではなかったか。日本語の基礎のできていない子どもに英語を教えても本当に意味があるのだろうか。育児書には複数の言語が話される環境で育った子どもが言語面で混乱する例を挙げているものも少なくない。もちろん、教材を使って少々英語を聞かせたくらいで、そうなると言うのはオーバーだと思うが。

乳幼児期の英語教育の媒体である、CDやビデオは乳幼児にとってよいものなのだろうか。川崎医科大学教授の片岡直樹氏は、テレビ・ビデオは「一方的な刺激」であり、子どもは話しかけて返事をしてもらおうという意欲をなくしてしまうと発言している。さらに、それは「教育的・良質」といった内容には関わりがないそうだ(小学館83)。1999年、アメリカの小児科学会は2歳未満の乳児にテレビを見せないようにと勧告している(小学館84)。乳幼児期に与えるインプットは生きた人間からのものでなければならぬ。

上手な早期教育のために、東京大学教育学部教授

の汐見稔幸氏は次の5点を挙げている。「本人のやる気を待つ」「本人が必要を感じる」「いやと主張できる」「年齢の目安は4歳」「環境を振り返って」。最後の「環境」とは家庭環境のことである(TBSブリタニカ25)。私もこの意見に全面的に賛成であるが、我が子に英語を聞かせてみたい気持ちもある。時々英語の歌を歌ってやり、2歳になったら「セサミストリート」でも見せようか…

最後に、育児の専門家ハイディ・マーコフ氏の印象的な言葉を1つ。「専門家の言うことは振り子のよように揺れるが極端な育児法に効果はない。中間点に着地しよう」(TBSブリタニカ28-29)。これは英語教育にも、他のすべてのことにも当てはまるのではないか。

参考文献

- 『Baby-mo』2月号 No.4 主婦の友社 2002
「gooBaby」<http://baby.goo.ne.jp/>
藤田正美他 編 『新・0歳からの教育：ニューズウィーク日本版』第6刷 TBSブリタニカ 2002
『SkipLand』No.2042 レモール 2003
立山誠，小川美奈子，長尾純子 編 『0歳からの育児』小学館 2002

(岡山県立倉敷南高等学校教諭)